

よしかわだより

令和2年7月21日 (2020-04)

発行者: 吉川まちづくり自治協議会
☎082-429-1879 (吉川地域センター内)
yoshikawajitkyo@outlook.jp



令和2年度 吉川地区敬老会、集合開催を断念

記念行事としては実施

実施要領をいきがい部会で協議

吉川まちづくり自治協議会第2回理事部会(6月27日開催)で確認した①令和2年度吉川地区敬老会は、集合しての催しを行わない。

②これを踏まえての開催方法をいきがい部会の中で検討し、必要な措置を行い、その結果を第3回理事部に報告するを受けて、7月18日



【7/18:いきがい部会の審議模様】

いきがい部会を15名で開催しました。部会は水城茂部会長の進行で進められ

ました。最初に理事会から付託された事項を確認し意見交換を行いました。

①年度予算で決定した枠内で行事を実施すること。
②対象者全員に記念品等をこれ迄の規模をベースに配布する
③配布は、9月18日(金)〜20日(日)の間で、対象者宅を訪問し、地区責任者、民児委員、見守りサポーターが行うこととし



【令和元年度の敬老会】

おられるので、フレイル対策外出し人に会うことの効能に配慮した訪問・配布とするため、本人家族に会い対話し手渡すこと
以上のことを第3回理事部に報告することとなりました。

具体的方法はこれまでの地区毎の方式で実施する
③今回の措置はコロナ禍における感染防止策によるものであり、敬老会を楽しみにされている方も

また部会では今後、吉川地域の歴史的遺構・名勝等を整理し、地元の学びに寄与し吉川を訪ねる方を増やせるよう史跡保存会を中心に取り組み

吉川まちづくり自治協議会は、7月21日、高垣市長に面談を申し入れ、地域課題と地元としての取り組み状況を説明し、意見交換を行いました。吉川自治協から



【市長と自治協3役員面談】

地域課題と地元の対応を高垣市長に説明

は大きく4点について説明し、市長から考え方が伝えられました。

①吉川小学校統合計画問題について
延長線だけではなく子供のために良い学校は残す。吉川でのバイリンガル教育もテーマとしてある。

③吉川工業団地西側エリア開発
市としても展望をもって協力する

吉川の子供は自然環境下でいきいきと元氣。地域の力を感ずる。コロナ時代の中でオンラインと対面を活かした教育の検討が必要。児童数が減で統廃合とする

6年間この問題に振り回されない状況作りをお願いしたい。
②住宅地化の促進
土地利用の課題多
い。まちづくりの視点で、小さな拠点づくり構想を持って

④初めての公設避難所自主運営の反省
テレビ会議的ツールで避難所を結ぶ。全面協力自治協の実践を踏まえた総括は実施する。等で意見交換をしました。

7月豪雨への取り組み 吉川地区自主防災会

7月13日夜から14日の早朝にかけての大雨で、市内で土砂崩壊の危険が高まり避難勧告が相次いで出されました。吉川エリアでは、避難勧告は出なかつたものの、吉川の主要河川古河川の水かさが増え、2年前の豪雨で被害を受け改修を予定し



【中渡橋西詰の被害】 7月14日早朝

ていた河川擁壁の部分が流出し、通行が危険となったことから、その箇所が通行止めとなりました。幸い吉川エリアでは家屋被害もなく終りました。市内では土砂災害で2名の方がなくなりました。夜間に避難勧告が出た場合、当該エリアへの情報伝達と、夜間等で避難ができない場合の命の守り方を日頃から学び、あわてない行動に結び付けられるよう訓練も必要です。

ふれあいの里杯 GG大会を開催

吉川ふれあいの里の開設記念日に毎年行ってきたグラウンドゴルフ競技大会を7月17日コミュニティ広場で開催しました。大会はこれまで4月に開催していまし



【入賞者の皆さん】



7月14日の大雨で水かさが増した古河川と戸坂川の合流地点。大量の土砂流入により水深が浅くなりました。

たが、コロナ禍で延期してしまいました。大会には、26名の地元住民が集まりスタンプ。結果、優勝は井室忠昭さん、二位は梅田安邦さん、三位は村主十千子さんが入賞しました。

自然災害へは、日頃から備え、“命を守る”、地域の力合わせが重要

九州地区で河川氾濫など大きな被害をもたらした豪雨は、中国地方にも停滞し、強い雨が長時間にわたって降り続きました。

7月6日午後4時過ぎに、市役所から連絡が入り、午後5時吉川地域センターに避難所を開設しました。このことは、吉川エリアに「吉川メール」で情報提供するとともに各地区責任者から地区電話



【戸坂地区での回収模様】

7月5日吉川地域全域で、主要道路に投げ捨てられた空缶・空瓶等の回収作業を住民の皆さんが参加して行いました。

地域活動 ボイ捨て 第2回空缶・空瓶回収を実施

袋に換算し、空缶18袋、空瓶8袋でした。今回も不法投棄されたゴミの回収も行ないましたが、弁当殻等多くの投げ捨てられたゴミがあり、四半期の回収作業ごとに増えています。今回は22袋を回収。回収するゴミの多さは作業従事者の負担になっていきます。回収した缶瓶、ゴミとも市の指定業者を持ち帰っていただきました。次回は、11月1日の予定です。



【長寿の森の状況7/14】

東広島市は、2年前の豪雨災害時において、連絡網を使い周知頂き

令和2年度から避難所開設・運営は、吉川地区自主防災会が担う

市職員の全避難所配置に限界があったとして、公設避難所開設運営を地元の住民自治協議会が担う制度を導入するため、昨年1年をかけて、自治協と市担当部門とで話し合いを進めてきました。これを受けて今年度からは、①開錠の



7月12日吉川長寿会のメンバー15名で長寿の森の草刈り作業を実施しました。梅雨が続く合間での作業となりました。午前8時全員でラ

長寿会メンバーで、長寿の森の清掃を実施。

予定していた作業を終了し、解散しました。



【復旧作業が終わった県道の斜面：7月-戸坂地区】

7月6日からの避難所開設は、初めての試みとしての実施となり

吉川まちづくり自治協議会は、これまで開錠のみの協力をしてきましたが、「制度の趣旨に反対せず、市の指導を受けつつ、運営に

ました。今回は、自主防災会三役(会長、副会長、事務局長)が交替で泊まり込み、市への定時連絡、避難者の受入れなどの役割を担いました。

7日深夜12時には、吉川地区にも避難勧告が発出され、避難者の方が来られ受け入れを行いました。

8日朝には小降りとなり、避難者の方とも退所され午前8時避難所は市の指示で閉鎖となりました。

今回の避難所開設は、従事者にあらかじめ訓練を実施するとの協定が実施に移されなかったことから、市との連携の面で改善すべき課題が生じました。

受入れ側の地元事情としても、受入れ機材の充足、常駐者の選任、避難勧告情報の伝達方法、避難者が増えた場合の対応など、検討しなげ

あり、今後役員会等で話合っていない課題が

吉川まちづくり自治協議会…8月予定表

- 7月29日：令和の自治協活動-内部研究会(市)
- 8月1日：吉川夏まつり(中止)
- 8月11日：コミュニティスクール自主勉強会
- 8月22日：第3回理事会(敬老会議)
- 8月23日：第2回道の里親作業(草刈り作業)
- 8月30日：ひとむすびナイトマーケット

※(市)：市主催行事 開催日等が変更となる場合があります

元気輝きポイント認定団体

吉川げんき塾：8月スケジュール

毎週木曜日10時~11時30分

於：吉川地域センター

- 8月6日：体操
- 8月13日お休み(休館)
- 8月20日：体操
- 8月27日：コグニサイズ

参加は、いつでもOKです
まずは見学参加しませんか

よしかわの1枚



吉川ふれあいの里杯
グランドゴルフ大会(7月17日)

ひがしひろしま市民活動情報サイトもご覧ください

<http://higashihiroshima.genki365.net/>

“よしかわだより”に関するお問い合わせは、吉川まちづくり自治協議会にご連絡下さい。